

令和6年度

大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題

〔大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜・
大阪府立富田林中学校に係る入学者選抜〕

適性検査Ⅰ

(国語的問題)

注 意

1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。

・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、
すべて**解答用紙**の記号を○で囲みなさい。また、答えを
訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

・答えの字数が指定されている問題は、、、。、「」なども
一字に数えます。

解答用紙の「採点」の欄と「採点者記入欄」には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に一、B面に二、C面に三があります。

4 「開始」の合図で、まず、**解答用紙**に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

【解答例】
ア
イ
ウ
エ

受験番号 番

得点



二					
3	2				1
	い		あ		
ア	ので、他人を意識することなく、		それは		ア
イ					イ
ウ					ウ
エ					エ
		10		11	
					採点
					採点者記入欄

一														
6						5	4	3	2	1				
B				A						c	b	a		
				身近にいる鳥を探して見ているうちに、		少しだけ気をつけていると、	ア							
							イ							
							ウ							
							エ							
30				35				5						
37				6		6	4	4	5	3		3	3	

三													
6	5				4						3	2	1
	流れ。												
										イ	イ		
										ウ	ウ		
										エ	エ		
					85								
					55						6		

二				
5	4			
	から生まれる。	「未知」のアイデアは、		

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

1 本文中の~~~~線部 a ㄱ c のカタカナを文脈に合わせて漢字に直し、解答欄の枠内に大きくていねいに書きなさい。

2 次のア〜エのうち、本文中の~~~~線部①と熟語の構成(成り立ち)が同じ言葉を一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 増減
- イ 不満
- ウ 温暖
- エ 逆転

3 本文中の~~~~線部②がさしている内容を次のようにまとめました。に入れるのに最も適している言葉を、本文中から二十字でぬき出し、はじめの五字を書きなさい。

自分の住んでいる集合住宅の芝生に来る鳥がとき。

4 次のア〜エのうち、本文中の~~~~線部③の意味として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア ものごとの最後のしめくくり。
- イ 特に変わったものごとがないこと。
- ウ ものごとに対するあきらめの気持ち。
- エ ものごとを始める機会や手がかり。

5 次の一文は本文中の〔あ〕〔え〕のいずれかに入ります。入れる場所として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

6 野鳥の魅力について、筆者が述べている内容を次のようにまとめました。A、Bに入る内容を、本文中の言葉を使って書きなさい。ただし、Aは二十五字以上、三十五字以内、Bは二十字以上、三十字以内で書くこと。

野鳥の魅力について、筆者は二つのことを述べている。一つめは、野鳥に関心を持ち、身近なところで少しでもだけ気をつけていると、Aを感じられることである。一つめは、身近にいる鳥を探して見ているうちに、Bがわかってきて、楽しくて何時間見ても飽きないことである。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への
配慮から
現時点での
掲載を控えて
おります。

1 次のア～エのうち、本文中の **A**、**B** に入れる言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア A たとえば B なぜなら
- イ A たとえば B しかし
- ウ A それとも B なぜなら
- エ A それとも B しかし

2 本文中の——線部①について説明した次の文の **あ** に入れるのに最も適している言葉を、本文中から十一字でぬき出しなさい。また、**い** に入る内容を、本文中の言葉を使って十字以内で書きなさい。

人がアイデアを生む源である妄想は、**あ** である。それは **い** のので、他人を意識することなく、自分の「好きなもの」を妄想の種として考えるとよい。

3 次のア～エのうち、本文中の——線部②が修飾している部分として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア そんな イ 突拍子もない
- ウ ことを エ ひらめくんだ

4 本文中の——線部③で筆者が述べている内容を次のように言いかえました。**う** に入る内容を、本文中の言葉を使って十五字以上、二十五字以内で書きなさい。

「未知」のアイデアは、**う** から生まれる。

5 次のア～オのうち、本文中で述べられている内容と合うものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 誰にでも他人とは違う個性があるので、その個性をヒントにして面白い人間にならなければならない。
- イ 好きなものがひとつあるだけでは、強い個性になりにくく、同じような妄想を抱く人とアイデアが重なる。
- ウ 自分らしいアイデアを生み出すためには、他人が个性的だと思ふものを好きになる必要がある。
- エ 他人に自慢できるような見栄えのいいものを、ふだんから興味を向ける対象にするべきである。
- オ 一人では限界があるが、さまざまな個性を持つ複数の人間が集まったら、妄想の種は広がりそうである。

三 青木さんは、学級で「言葉の使い方」についてスピーチをするこ
とになりました。次の【発表原稿の下書き】を読んで、あとの問い
に答えなさい。

【発表原稿の下書き】

「この選手、走るのがすごい速いね。」この言葉は、先日祖父の家で
テレビを見ていた時に私が発した言葉です。祖父は、「その言い方
気になるよ。」と言いました。祖父によると、「速い」以外にも「きれ
い」「おいしい」などの様子をあらわす言葉が続くときには、「す
ごい」ではなく「すごく」を使うのが本来の使い方で、「すごい」は
「すごい人」「すごい映画」など、もの名前をあらわす言葉が続
くときに使うということでした。みなさんは「すごい速い」とい
う方をどう思いますか。私は、友だちとの会話の中で「(A)
速い」などの言い方をしても、友だちから「気になる」と言われたこ
とがなかったので意外でした。そこで、「すごい」という言葉の使い
方について、調べてみることにしました。

辞典で「すごい」という言葉を調べたところ、ある辞典では、

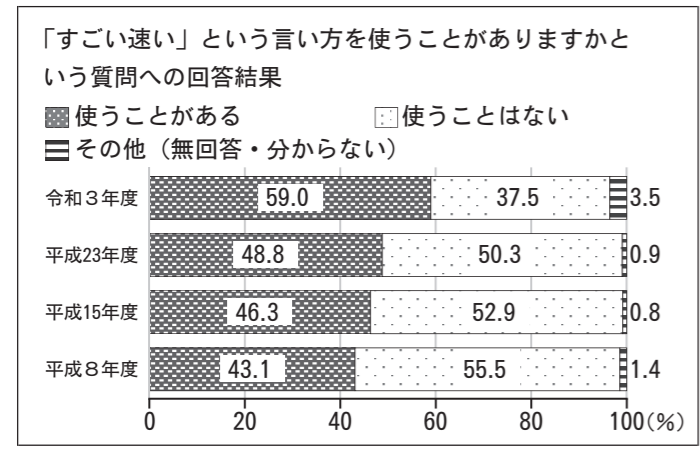
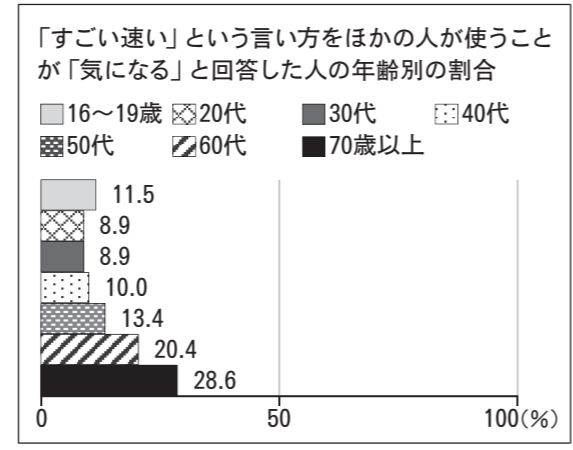
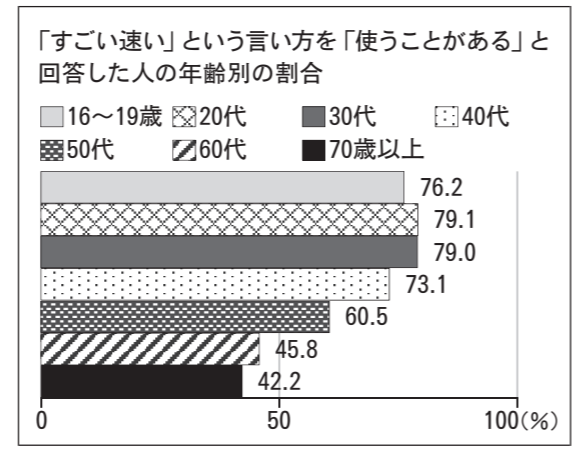
と書かれていました。このことから祖父の言う通り、「(B)
速い」という言い方が本来の使い方だということがわかりました。
しかし、他の辞典では、

ということが書かれていました。これらを読んで、「すごい」と
いう言葉の使い方について、

あ

のかという疑
問がわいてきたので、そのことについてインターネットで調べてみ
ました。

今からお示しする【資料1】、【資料2】、【資料3】は、いづれ
も令和三年度の文化庁の調査の結果です。はじめに、【資料1】をみ



【資料1】、【資料2】、【資料3】のいずれも文化庁の資料により作成

てください。こちらは、「すごい速い」という言い方を「使うことが
ある」と回答した人の年齢別の割合を示しています。次に、【資料2】
をみてください。こちらは、「すごい速い」という言い方をほかの人
が使うことが「気になる」と回答した人の年齢別の割合を示してい
ます。この二つの資料をみると、一六～一九歳、二〇代、三〇代、四
〇代では、「すごい速い」という言い方を「使うことがある」と回答
した人の割合は七割から八割の間となっており、「すごい速い」とい
う方をほかの人が使うことが「気になる」と回答した人の割合は
約一割だということがわかります。一方、七〇歳以上では、

い

ことがわかります。

最後に、【資料3】をみてください。こちらは、「すごい速い」と
いう言い方を使うことがありますかという質問への回答について、
令和三年度の結果と過去の結果とを比べることができる資料です。
【資料3】をみると、「すごい速い」という言い方を「使うことがあ
る」と回答した人の割合は、平成八年度は約四割でしたが、その後の
調査では少しずつ増加していき、令和三年度では約六割になってい
ることがわかります。私は今後もこの流れが続くのではないかと
考えます。

祖父からの指摘を受けて調べた結果、「すごい速い」という言い方
は本来は誤りだということ、世代によって使う割合や感じ方にちが
いがあること、本来と異なる使い方をする人の割合が増加してい
ることを知りました。今回私がわかったことは、言葉は使う人や時代
によって変化するのです。このことを意識しながら、言葉について
もっと調べたり考えたりしていきたいです。これで私のスピーチを
終わります。

- 1 次のア～エのうち、【発表原稿の下書き】中の青木さんの発表の工夫として誤っているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
ア 初めに結論を述べている。
イ 聞き手に質問を投げかけている。
ウ 自分が体験したことを述べている。
エ 順序を示す言葉を使って説明している。
- 2 次のア～エのうち、【発表原稿の下書き】中の(A)、(B)に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
ア Aすごい Bすごい イ Aすごい Bすごい
ウ Aすごく Bすごく エ Aすごく Bすごい
- 3 【発表原稿の下書き】中のあ に入れるのに最も適している言葉を、前後の内容から考えて、【発表原稿の下書き】中から二十一字でぬき出し、はじめの六字を書きなさい。

- 4 【発表原稿の下書き】中のい には【資料1】と【資料2】から読み取れる内容が入ります。前後の内容から考えて、【資料1】から読み取れる内容にも【資料2】から読み取れる内容にもそれぞれ最もという言葉を用いて、五十五字以上、八十五字以内で書きなさい。
- 5 【発表原稿の下書き】中の—— 線部①とはどのような流れですか。その内容を「流れ。」で終わるように、【発表原稿の下書き】中の言葉を使って十五字以上、三十五字以内で書きなさい。
- 6 【発表原稿の下書き】中の—— 線部②の「わかったことは」と「変化するのは」は適切に対応していません。この文の内容を変えないように、「変化するのは」の部分の適切な形に書き直しなさい。

